

まつら



No. 101

令和8年6月

佐賀県唐津農林事務所
東松浦農業振興センター
TEL (0955) 73 - 1121
FAX (0955) 75 - 0578



<http://www.pref.saga.lg.jp/list02462.html>
※東松浦農業振興センターホームページ



せと あきひろ
瀬戸 商博さん
(29歳)

【経営概況】

玉ねぎ 60a

「日本の資源で日本の農地を守りたい！」

せと あきひろ
～「瀬戸 商博」さんをご紹介します！～

瀬戸商博さんは唐津市相知町で玉ねぎ60aを栽培されている若手農業者です。瀬戸さんは関東の大学を卒業後、県外の肥料メーカーに勤務されていましたが、昨年度、父親が経営する肥料会社にUターン転職されました。日本の中山間地域を守りたいという思いから、自社に新たに生産部門を立ちあげ、より多くの農地を活用できる玉ねぎ等の露地品目を導入されました。

瀬戸さんの栽培は①殺虫剤・殺菌剤の使用を控え、使ったのは除草剤のみ②土壌診断に基づき施肥設計を自身で行い、必要なものを必要な量与える③肥料は自社の国内製品などにこだわりの、「国産資源で日本の農地を守る」ことを理念に営農されています。将来的には20haの農地で玉ねぎ等の露地品目を栽培することを目標にされています。

瀬戸さんは現在、若手農業者で組織された4Hクラブ「松原会」の一員としても活動されています。入会のきっかけは、大学時代の友人である同クラブ員からの勧誘で、品目が異なる同年代の若手農家と一緒に活動できることが自身の経営の学びに繋がっているとのことでした。

今後の地域農業を担う若手農業者として、瀬戸さんのますますの活躍が期待されます！

「松原会」の新たな仲間を**絶賛大募集中**です！

農業を始めるにあたっては、「人とのつながり」も大切です。

4Hクラブは農業人として成長するキッカケに出会える貴重な場です。

唐津・東松浦地域には4Hクラブ「松原会」があります。入会して共に学びましょう！

(事務局：東松浦農業振興センター)

新任のご挨拶

センター長 江口 順英

本年4月の定期人事異動により、農業振興センター長として着任いたしました。微力ではございますが皆さまの営農の一助となるよう、職員一同、全力で取り組んでまいります。

唐津・東松浦地区は、園芸・畜産ともに県内有数の産地であり、皆さま一人ひとりのためまめ努力と挑戦が、地域農業の基盤を強く支えています。

近年は資材や飼料、燃料などの価格高騰や気象変動など、農業経営を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。こうした厳しい状況に対応していくためには、これまで以上に単収の増加や品質向上による収益力の強化が重要となっています。

本県では、「園芸分野において」が園芸の88運動」のもと、単収・品質の向上・規模拡大による生産力強化を進めており、また、畜産分野では「さが畜産GOX2プロジェクト」を通じて、生産性の向上や飼養管理の改善、経営体質の強化に取り組んでいます。

作物や家畜が本来持つ力を最大限に引き出す栽培管理や飼養管理、施肥設計や飼料設計の徹底など、日々の積み重ね「少しの改善」が物価高騰への対応策の一つと考えています。

農業振興センターでは現場に寄り添いながら、単収向上や品質向上に結びつく技術の提案、経営改善に向けた支援、分かりやすい情報発信に努めてまいります。厳しい環境の中でも前向きに挑戦する皆さまの力になれるよう、職員一同、全力でサポートしていきたく思いますので、引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度 東松浦農業振興センター 職員紹介



○異動者の紹介 (10月異動者含む)

センター長 牧山 退職
 普及課長 木下 杵島振興センターへ
 農業企画課長 梶原 農政企画課へ
 果樹係長 古賀 農業大学校へ
 経営係長 松枝 藤津振興センターへ
 農業企画係長 橋口 西松浦振興センターへ

土地利用型 田中 農業大学校へ
 野菜・花き 磯部 上場営農センターへ
 野菜・花き 綾部 西松浦振興センターへ
 畜産 下村 西松浦振興センターへ
 農業企画 梶原 畜産課へ

～お世話になりました～



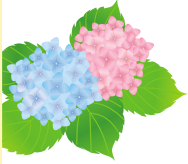
令和8年度から始まる新たな活動（普及課題）の紹介

気になる
実になる
情報

◆企業の経営体の育成

佐賀の「稼ぐ」青年農業者育成プロジェクトは、企業の経営への転換を目指す青年農業者を支援対象として今年度からスタートしました。

管内の対象者は7経営体で①販売金額3千万円以上または収益の20%以上増加②企業の経営体への転換を目指した取組の達成を目標にしています。経営発展計画の作成・目標達成のための技術・経営支援、関係機関と連携した経営戦略会議、専門家派遣、先進事例調査等を計画しています。5年後には経営発展計画の目標を達成するよう伴走支援をしていきます。



◆「はるか二条」の導入で大麦収量アップ！

唐津管内では現在「サチホーグルデン」という大麦が栽培されていますが、令和9年度産から「はるか二条」に品種転換が行われる予定です。

麦作経営の所得向上を目標に、振興センターでは、1.地域に適した栽培技術の確立、2.栽培研修会の開催、3.指導情報の発出、4.排水対策の推進等の支援を行っています。

「はるか二条」は倒れにくく、栽培方法を守ればしっかりと収量の取れる品種です。適切な栽培管理で大麦の収量向上を目指しましょう！



◆3方よしの繁殖牛確保へ

繁殖牛に求める素質として「肉質や肉量に優れた牛を産む能力（産肉能力）」、「子を安定して途切れることなく産む能力（繁殖能力）」、「産肉能力と繁殖能力を十分発揮するための基本となる体型」の3つが挙げられます。

3つの能力を兼ね備えた高能力な繁殖牛を揃えることが佐賀牛の生産基盤の強化につながります。そこで、ゲノミック評価（牛のDNA情報から産肉能力を推定する技術）の有効活用や、獣医師と連携した繁殖管理の適正化、優良農家を参考とした育成雌牛の飼養管理技術の向上等に取り組み、佐賀牛生産基盤の強化を図ります。

◆隔年交互結実栽培で日焼け果発生を軽減

近年、露地みかんでは、夏季の高温により日焼け果が多発しています。日焼け果発生軽減のためには、基本的には着葉数や細根量を増加させ、樹体の健全化を図ることが重要となります。

隔年交互結実栽培では、着葉数が多いことに加え、多くの果実を着果させることで枝が下垂し果実が葉の陰に隠れるため、その結果、日焼け果の発生が少なくなります。

隔年交互結実栽培は、高品質果実生産、作業の省力化だけでなく、日焼け果の発生軽減が期待され、管内で面積拡大中です。



上から見た果実（上：隔年交互結実栽培 下：慣行） ※上場営農センター提供



管内トピックス

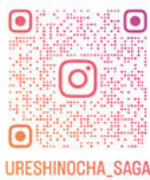


「SAGA茶祭」 2026」を開催！

佐賀県で、27年ぶりとなる、国内最大級のお茶のイベント「全国お茶まつり佐賀大会（SAGA茶祭（ちゃさい）2026）」が開催されます。

大会キャッチコピーは、「佐賀で味わう、日本茶の新时代」。この大会では、日本一のお茶を決定する全国茶品評会（8月、嬉野市）のほか、記念式典（11月、佐賀市文化会館）、煎茶道体験や利き茶、お茶の試飲や販売などを楽しめるイベント（11月、佐賀城公園）も開催されます。

全国から多くのお客様が来場されるこの大会を通じて、佐賀県のお茶の魅力を発信します。全国お茶まつりや佐賀のお茶に関する情報は県のHPで発信中です。



URESHINOCHA_SAGA

露地野菜・露地花きの 新規作付・規模拡大を支援します！

佐賀県露地野菜100億円アップ推進事業

募集期間（2次）令和8年7月28日～8月27日

佐賀県では、水田農業を担う農業者や集落営農法人等の経営発展及び園芸産地の活性化のため、露地野菜、露地花きの生産拡大の取組を推進しており、令和元年度から「佐賀県露地野菜100億円アップ推進事業」を実施しています。

※応募先…東松浦農業振興センター

詳しい支援内容や応募要件等については、東松浦農業振興センターにお問い合わせいただくか、「さが園芸888運動」HP（2次元コード）から、チラシ、実施要領・交付要綱をご確認ください。



就農セミナーを開催します！

農業に興味がある方、農業を始めた方を対象に、品目別に就農セミナーを開催します。セミナーでは、栽培の特徴や補助事業の話、先輩農家の体験談のほか、皆さんの就農に係る疑問にもお答えしています。唐津市、玄海町で農業を始めた方、ぜひご参加ください。

★開催予定★アスパラ（6月14日）、かんきつ（8月30日）、きゅうり・中玉トマト（10月）、いちじく（令和9年2月）

※事前申込が必要です。詳細は振興センターまでお問い合わせください。

佐賀県農業大学校より お知らせ！

佐賀県農業大学校では、次代の佐賀農業を担う人材育成に取り組んでいます。

★入試情報

①推薦入試（出願）令和8年8月26日～9月10日

（試験）令和8年10月2日

②一般入試（出願）令和8年10月26日～11月12日

（試験）令和8年11月27日

*一次もありません。

詳しくは、農大のHPをご確認ください。



SAGA_NOUDAI2025

唐津農林事務所の活動を掲載しています。

日頃の活動を県HPに随時掲載していきますので、ぜひご覧ください！

URL: <https://www.pref.saga.lg.jp/list02462.html>